

金環日食観測報告

神原 正見(1975年入学 天体写真班)

2012年5月21日(20日UT)の金環日食、出勤前に自宅で撮影し、中学校の理科の教材用にした経過写真がありました。

撮影日：2012年5月21日(月) 6h52m~7h54m(JST)

撮影地：千葉県旭市飯岡

機材：マークXベースモデル(赤道儀)

ニコンD7000+シグマ400mm+1.4倍テレコン(35mm版換算840mm相当)

アストロソーラーフィルター(D5相当)にて減光

備考：第1接触時は雲が厚く、太陽の位置も確認できず。

6時50分過ぎから雲を通して太陽の位置が確認できるようになる。

徐々に雲が薄くなるものの常に雲のある状態。

第2接触前から若干雲は薄くなるが、薄雲が絶えず太陽の前を通過していく。

金環開始から終了まで徐々に雲の厚みが増してくる。

第3接触以後、15分程度でノーフィルターでも太陽の位置の確認ができなくなり、撮影終了。

急ぎ、機材を撤収し、1時間遅れで出勤。授業でダイジェスト写真を投影。

(生徒には日食グラスを事前に配布)



以上